

令和7年第7回（7月）山陽小野田市教育委員会定例会会議録

1 日 時 令和7年7月24日（木曜日） 14時00分 開会

2 場 所 本山地域交流センター

3 出席委員 教 育 長 長 友 義 彦 職務代理者 竹 田 佳 枝
委 員 河 村 芳 高 委 員 嶋 本 顕
委 員 末 永 育 恵

4 欠席委員 0人

5 委員及び傍聴人を除くほか、会議に出席した者の氏名

教育部長	藤 山 雅 之	教育次長兼教育総務課長	矢 野 徹
学校教育課長	升 谷 哲 也	埴生幼稚園長	福 間 久美子
学校給食センター所長	吉 村 匡 史	社会教育課長	山 本 修 一
中央図書館長兼厚狭図書館長	山 本 安 彦	歴史民俗資料館長	若 山 さやか
小学校長会長	下 瀬 昌 巳	中学校長会長	高 来 英 行
書 記	田 坂 優 香		

6 傍 聴 人 0人

7 議事日程

(1) 開 会

(2) 会議録署名委員の指名

(3) 報 告

(4) 休 憩

(5) 議 事

① 議案第28号 山陽小野田市社会教育委員の委嘱等について (社会教育課)

(6) その他

① 県費負担教職員の人事について (学校教育課)

② 市職員の人事について (教育総務課)

③ 市職員の営利企業等従事許可について (教育総務課)

④ その他

(7) 閉 会

開 会

○長友教育長

初めに、教育委員の任命についてご説明します。５月市議会臨時会において議会の同意を受け、５月３１日付で、嶋本顕（しまもと あきら）様が、新たな教育委員として市長から任命されたところでございます。任期は、令和７年５月３１日から令和１１年５月３０日までの４年間となります。それでは、嶋本委員からご挨拶をいただきたいと思います。

○嶋本委員

ただ今ご紹介いただきました、山口東京理科大学から参りました、嶋本でございます。元々山陽小野田市に住んでいたわけではなく、薬学部が開設されてからこちらに参りましたので今年８年目になります。これまで地域の方々や山陽小野田市との連携をいろいろと経験させていただきまして、その中で少なからず山陽小野田市はどういう所なのか、というのをある程度理解をしているつもりですが、この度高等教育に携わってきた経験と地域とのつながりを活かして、初等教育に様々な意見をしてくれということだと理解し、お引き受けすることとなりました。先日初めて高千帆小学校の計画訪問に参加させていただきましたけども、どちらかというと僕が意見するというよりは、まだまだこれから勉強して初等教育の現場の現状を勉強させていただきながら、今後少しずつ自分なりの意見を皆さんに出していきながら、お互いに山陽小野田市の教育を向上させていくような取組をさせていただきたいと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

○長友教育長

はい。それでは引き続き、山陽小野田市教育委員会会議規則による７月の定例教育委員会会議を開催します。

本日は、委員４名が出席しており、定足数に達していますので、会議が成立していることをご報告いたします。

会議録署名委員の指名

○長友教育長

会議録署名委員の指名をいたします。竹田委員、河村委員よろしくお願いいたします。

会議非公開の決定

○長友教育長

本日の議事日程「６.その他」の「県費負担教職員の人事について」及び「市職員の人事について」は、特定の個人に対する審議であり、公開することにより、職員との信頼関係が損なわれると認められるとともに、人事の適正な執行に支障が生ずると認められます。

よって「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第１４条第７項ただし書きの規定により、非

公開としたいと思います。

これに賛成される方の挙手をお願いします。

(全員挙手)

ありがとうございます。全員賛成と認めます。それではレジュメに沿って進めます。

各課・館業務の報告

○長友教育長

報告事項に入ります。

まず私から報告をいたします。

私は先日実施いたしました、学校訪問について報告いたします。毎年各学校に、教育長・教育委員・事務局職員とで学校訪問を行い、校長から学校運営について説明を受け、各学校の教室や子どもたちの学びの様子などを参観します。7月から令和7年度の学校訪問が始まり、2日(水)に須恵小学校、4日(金)に高千帆小学校、7日(月)に厚狭中学校を訪問いたしました。

気付きを3点申し上げます。

1つ目は、学力向上の取組です。この課題については、どの学校も学校全体で組織的に取り組んでいると感じました。参観した小学校におきましては、山陽小野田市独自で行っているモジュール学習、脳の活性化を主眼に置いて、スピード・テンポ・タイミングに気を付けながら小学校下学年では音読、計算に取り組み、小学校上学年や中学校では、基礎基本となる知識技能の習得に集中して取り組んでいました。また、授業改善についても、どの学校も力を入れて進めていました。現在の学習指導要領では、個別最適な学びや協働的な学びを通して主体的・対話的で深い学びを目指しています。そうした学びに近づけるようICTの活用も含め、研修を積み重ねていくとのことでした。

2つ目に、各学校で課題となっている、子どもの主体性の育成についてです。

小学校では委員会活動、中学校では生徒会活動の特別活動を活性化する取組を実施していました。小学校の委員会活動では、ICTを活用し、委員会の仕事に関する動画を作成し、給食の時間などに全校に放映する取組が見られます。厚狭中学校では、授業改善に当事者である生徒も関わり、教員と意見交換する等の取組を実施しています。

3つ目は、読書活動です。学校司書から説明を受け、学校図書館も視察いたしました。6月が読書週間であったことから、子どもたちが意欲的に読書活動するために、図書の展示や紹介を工夫したり、読書量を可視化したりする取組を学校司書が中心となって行っていました。読書離れは大きな課題ですので、今後の一層の取組をお願いしたところです。どの学校も校長先生を中心として、各学校の教育課題の解決に向けて教職員と話し合い、子どもたちと共同して取り組む様子が見られています。各学校の特色である活動が子どもたちに浸透し、子ども自身が主人公となる学校づくりに資するものであると思いました。まだ訪問していない学校へは、2学期以降、順次回って行く予定です。教育委員会としましては、こうした各学校の特色ある取組について伴走支援をしてまいります。

私からは以上です。

学校訪問を一緒に回られた委員から少し感想や気付きをいただきたいと思います。

では、末永委員。

○末永委員

はい。私は3校回らせていただきました。毎年市内の小中学校、幼稚園回らせていただいているのですが、毎年感じるのは昨年よりも良くなっているな、環境も先生方も子どもたちも全てにおいてとても良い方向に向かっているなと感じさせていただいています。学力に関しては、どこの小中学校でも、いろんな子どもたちの学力に合わせて指導・支援ができるシステムが今すごくできてきている状況だと、保護者としてはとても強く感じています。特に今年は、不登校気味の子たちが少しでも学校に来やすいようにということで厚狭中学校にステップアップルームが開設されて、その利用も少しずつ子どもたちが増えてきているようでした。ステップアップルームは不登校の子だけではなくて、学校には来ているけれど、ちょっと教室に入りづらいとか、いろいろな問題で今は教室でみんなと勉強できないという子の居場所としても使われているそうなので、どの子も学校のどこかのスペースで学ぶことができるというシステムが出来上がってきていることを、とてもうれしく感じました。そのようなシステムが出来上がってきている反面、学校訪問で各教室を歩いていると、理科室とか美術室とか図工室、家庭科室とかはまだ空調が入っていないで冷房設備がなくておらず、教室はとても過ごしやすくみんな学習できているのですが、いざ家庭科、理科するとなると汗だくで、扇風機を回しながらでもすごく暑かったりするので、ぜひ特別室にも空調設備が行き届くともっといろんな活動ができるのではないかなと感じました。

以上です。

○長友教育長

竹田委員。

○竹田委員

はい。私は都合により2校だけの訪問で、モジュール学習それから朝学のところから入らせていただきました。やっぱり山陽小野田市が進めてきている理想的なモジュール学習をしていらっしゃる学校がありますので、どの学校もそういう見本となるところで多く学んでいただいて、モジュール学習がより充実したらいいなと思いました。先程の末永委員の空調に関するお話しなのですが、学校訪問させていただく際は5分くらいの間で次々に教室を移動するのですが、お部屋によってはちょっと暑いなと思うところとか、よく冷えているなとか、空調の温度に関して教室によって格差がありました。エアコンが付けられた当初は温度設定とか決まり事があったと思うのですが、今これだけ暑くなっている中で、先生方の体感で温度が設定されているのか、それとも基本となる温度があるのか、どういうかたちで使うようになっているのかというのが少し気になりました。先日1学期が終わりましたが、現状のこの暑さの中で具合が悪くなった子はいないのかなと心配になりましたので、そのあたり教えていただけるとありがたいです。

○長友教育長

はい。教育総務課長。

○矢野教育次長兼教育総務課長

はい。設置当初にはマニュアルを配布して、室温については設定何℃、スイッチを入れるのは何℃以上の場合と出しております。その後は特に新たな指示はしておりませんので、学校がそのとおりを守っているかもしれませんが、その辺りは今言われるとおり空調機の性能劣化であったり体感であったりとか、そういうのに合わせて柔軟に温度設定等できるように改めて通知したいと思います。

○長友教育長

よろしいですか。

○竹田委員

教室の中に扇風機があることはよくあるのですが、厚狭中学校の場合、廊下に2台ほど扇風機を回しておられたんですね。それがすごく全体に上手く回っているという、そのような使い方はとても良いのではないかなと自分は感じましたので、またそういう部分も試してみられるのも良いのではないかなと思いました。

以上です。

○河村委員

はい。よろしいですか。

○長友教育長

はい。

○河村委員

今教育長から報告があったのですが、3つの柱の中の2つ目に自主性を育てるとありました。私は教師と生徒というのは、大人と子どもとで、パワーバランスが全然違うと思うのですよね。私の時代はまた全然違って、大人に口答えできるような状態じゃなかったのですが、そのような点で生徒と先生の意見交換をどのように工夫されているのかという事と、そのパワーバランスをなるべくフラットにして同じ目線、子どもの目線まで下げて見ようとされると思いますが、生徒が意見しやすいような状況を作られているのか、苦労されているのか、どのような状況でしょうか。

○長友教育長

升谷課長。

○升谷学校教育課長

はい。私も年少、小さい頃はよく先生方に叱られたものです。理由も聞かずに叱られることも多かったなと思います。やはり最近子どもたちに、授業においてもそうですが、何のためにこれをやっているのかと、そういう事を求めながらやっています。ですからトラブルがあったときも、なぜそうなったのか、しっかり話を聞いて何が課題であったか、何をしなければいけなかったのかを考えさせて、そのように寄り添うかたちでの指導・支援を今しているところです。パワーバランスについては、やはり教育相談的な生徒指導、中にはガツンと叱らなければいけない場面も生じますけれども基本は子どもたちに寄り添って相談しやすい関係づくりを心掛けているところです。

○河村委員

はい。わかりました。

○長友教育長

厚狭中学校は、先進的な取組で授業を受けた生徒が、先生と授業について話し合うことをやっています。生徒目線から見た授業で、先生の言い方が分かりにくいとか、もっとこういうことを自分はしたかったとか、そうした意見も今升谷課長が言ったように、対等に話せる雰囲気を作った上で話しております。なかなかいい意見を言ってくれるので、先生たちが気付かなかった気づきを教えてもらって、次の授業改善に役立てるような、いい感じのサイクルが回っているので、とても親和的な感じで見ていても意味のある授業になりました。

よろしいですか。他に学校訪問での気づきはありますか。

○嶋本委員

先程モジュール学習の話があって、そういう方法が私の時代にはなかったもので、朝から目が覚める感じの授業を展開されていて、こういうのがいいのかなと思ったのですが、一般的な授業で子どもが受けるのは、これから社会に出て行くのにある程度必要な知識を身につけるための課程であって、

個々人の能力をどういう風に伸ばしていくことについては、そこにはなかなか含まれないだろうと思うのですよね。例えば35人なら35人の生徒さんに同じような授業をやっていくわけですから、なかなかそこは難しいので、それ以外のところでどうやって個人の能力を特にこの世の中のリーダーとになっていく人たちをどうやって育てていくのか。高校や大学だけではなくて小学校・中学校からでもあるはずで、課外活動がその一つではないかなと思っています。そんな話をここでしていいのかどうか分かりませんが、できれば部活の地域移行みたいな話があって全国的に実践していかなければならないことだと思っていますが、その辺りについても今後どうしていくべきなのか、山陽小野田市としてどうあるべきなのかを一緒に考えていけたらなと思っています。

○長友教育長

ありがとうございます。

小中学校も知識理解以外の部分で情意的な部分の指導、非認知の指導とか、指導じゃないけど、伸ばすためにいろいろと取組んでいらっしゃると思いますよね。高来中学校長会長いかがですか。

○高来中学校長会長

はい。今まさに取組中なのは生成AIが入ってきて、それをどう使っていくかという研修を教員もしながらやっているところです。例えば、自分が作った作文のようなものを生成AIに聞いてみて、どこが良いか、どこが悪いか、どう修正したらいいのかという壁打ち的な使い方をする方法もあると思いますし、自分がやったプリントを写真に撮って、「採点して」と言ったら採点してくれるのです。そのように色々な使い方が今あって、生成AIに使われる人間ではなくて、使える方の人間にならないといけなくて、あくまでパイロットは自分で生成AIはコパイロットですと言われているので、その事を研修しているところです。たまたま本校は秋に情報関係の県での公開授業を引き受けているので、それに向けて今指導案を作っているところです。

○長友教育長

今後に向けての資質能力という点でAIでということですね。下瀬小学校長会長。

○下瀬小学校長会長

先程、子どもの主体性というところで、委員会の動画作成で昼休みに放送して皆さんにお知らせするということがあったと思います。色々な力があると思いますが、知識あるいは技能の習得だけではなくて、他者と協働してものを進めるとか自分の考えを持って企画してみんなと一緒に実践に努めるというように、このような力というのは学校生活全体でつけるものでもありますし、特に委員会活動、それから小さい学年であれば当番活動、係の活動で育まれるところがあるのではないかと思います。それから本校では、掃除も縦割り班でやっており、上級生が下級生に掃除の仕方を教える、黙って掃除をすることを教える、そういうことも上級生として下級生に教えていくことで思いやりの心も育まれますし、その時間に何をしないといけないかという事を学年に応じた分かる言葉で教えていくことも必要な資質になるかなと思います。

以上です。

○長友教育長

はい。ありがとうございました。

なかなか学校訪問だけでは見きれないところですが、中学校長会と小学校長会に意見をいただきまして、ありがとうございます。またチャンスがあったらそうした場面を見せていただければと思います。

それでは、藤山教育部長お願いいたします。

○藤山教育部長

私のほうからは２点ご報告いたします。

１点目は、６月議会の補正予算審議についてです。

６月議会は、藤田市長が再任されて最初の議会であり、市長の政策的予算、いわゆる肉付け予算の審議が行われました。教育委員会にも肉付け予算がありましたので、その主な審議について報告いたします。

最初に、小中学校児童生徒と埴生幼稚園園児の学校給食実施事業（物価高騰分）についてです。この事業は、学校給食食材の物価高騰により、学校給食の提供にも支障が出る可能性が高いため、食材の物価高騰相当額について、公費で負担することにより、保護者の負担増を抑え、給食費は据置きのまま、これまでどおりの栄養バランスや質を保った給食が提供できるように支援するものです。

これに対し、この事業はいつから行われているか質問があり、令和４年度の３学期から国の交付金や一般財源を投入して行われていると回答しております。

また、この事業の審議時に、市の限りある予算の中で賄材料費の公費補填をいつまで続けていくのかという課題に対して、来年度に学校給食費の改定が必要であるという説明もいたしました。この説明に対して、改定の検討状況の質問がありましたので、現在検討中であり、改定の議論を行うことに対しては、教育委員にも教育委員会会議で説明をしていると回答しております。

次に、学校和式トイレ洋式化事業についてです。この事業は、和式トイレの使用に不慣れな小中学生等の負担軽減を図るため、トイレを順次洋式化するもので、令和６年度までは１学年当たり１２基を設置しておりましたが、今年度につきましては、数を増やして２４基の設置、内訳で言いますと、小学校は有帆ほか合計９小学校に２基ずつの１８基。中学校は高千帆・小野田・竜王の合計３中学校に２基ずつの６基の設置を計画するものです。

これに対しまして、児童生徒が多い学校は、少ない学校よりもトイレの使用回数が多いので、一律２期ずつ設置するのではなくて、児童生徒数が少ない学校を１基にして多い学校を３基にするとかいう考え方もあるのではないかという質問がありました。

これに対しまして、中学校はどれも洋式化率が低いので、中学校は一律に２基ずつ設置したいと回答いたしました。

次に、リーディングＤＸスクール事業についてです。この事業は、国が進める事業でＧＩＧＡ端末の標準仕様に含まれている汎用的なソフトウェアとクラウド環境を活用し、児童生徒の情報活用能力の育成を図りつつ、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実を一体的に進め、校務ＤＸを推進して全国に好事例を創出することを目的としています。この度、国の委託を受け、民間事業者が実施するこの事業の指定校として、小野田中学校・小野田小学校・須恵小学校が採択されましたので、先進事例視察や有識者による研修講演会等をとおして、効率的な教育実践を創出し、市内各学校に横展開していくものです。

これに対しまして、中学校でのＩＣＴ化はものすごく進んでいると捉えてよいかとの質問があり、全ての中学校で同じように進んではないので、リーディングＤＸスクール事業に取り組むことで、本市のＩＣＴテクノロジーの使い方等を底上げして、さらに進化していきたいと回答しております。

他にも、学校給食センターの人材派遣委託料について質問がありました。学校給食センターでは、定年退職や早期退職により調理員の離職者が多く、安心して安全な学校給食を安定して提供するために欠員した調理員の確保が必要となってきますが、最近ハローワークでの募集だけでは困難になっています。このため、この委託料で欠員が生じた場合にハローワーク以外の人材派遣会社を活用して給

食調理員の確保を行うものです。

質問されたのは、ハローワークに頼むより人材派遣会社のほうがコストがかかるかというものでした。

これに対しては、人件費の1日当たりの金額で言えば5,000円あるいは6,000円の差がありますが、ハローワークで募集して会計年度任用職員として雇用することになれば共済費など負担金が出てきますので、それを加味すると、おおまかな計算ではありますけど、ほぼ同額になると回答しております。

以上報告してまいりました6月議会補正予算は議会で承認されましたが、学校和式トイレ洋式化事業については、小規模校、大規模校という学校の特性も考慮しながら、各学校につき実質的に平等に改修していく必要がある。ついては、各小中学校の児童生徒数を考慮し、洋式トイレ1基辺りの児童生徒数に格差が生じないように事業を進めることを強く求める。との附帯決議が出されました。

報告する2点目は、中学生市議会についてです。中学生市議会は、市内の中学生が中学生議員となり、市政に対する様々な提案や質問を実際の市議会さながらに、市長と話し合うものです。今年度は8月5日に開催されます。その内容につきましては、来月の定例会で報告いたします。

私からの報告は以上となります。

○長友教育長

はい。それではただ今の報告に関しまして、ご意見ご質問はございませんか。

○河村委員

よろしいですか。

○長友教育長

はい。

○河村委員

学校給食の問題ですけれど、先月も問題になりましたが、少子化対策として将来は公費負担でなく全負担になるのではないかなと、方向性はそうかなと思うのですが、今、山口県内の市町で公費負担を全額しているというのはあるのでしょうか。

○藤山教育部長

県内いくつかございますが、逆に全然公費負担していないところもあるようなのが県内の状況です。

○河村委員

市町によって財政状況が違うので、しょうがないと思いますけど、例えば今の子どもの数でいうと全額市が負担するとしたらどのくらいの金額の負担があるのですか。

○吉村学校給食センター所長

3億になりますね。

○長友教育長

よろしいですか。

○河村委員

はい。

○長友教育長

はい。それでは、矢野教育次長兼教育総務課長お願いします。

○矢野教育次長兼教育総務課長

はい。私からまず1点目、寄附採納についてご報告します。7月教育委員会会議資料をご覧ください

い。6月に山口朝日放送株式会社様、そして公益財団法人日本公衆電話会山口支部様より寄附を頂いております。ご確認いただけたらと思います。

続きまして、共催後援です。こちらにつきましても、お配りしております両面印刷してある資料をご覧ください。学校教育課において6月10日から6月30日までの間、社会教育課において6月18日から6月30日までの間に後援を承認したものでございます。

続いて、事業の進捗状況について1点ご報告します。厚狭小学校耐力度調査業務という地図の真ん中が赤く塗られている資料をご覧ください。こちらにつきましては、厚狭小学校の校舎の配置図となります。網掛けをしている校舎3棟及び屋内運動場1棟の計4棟について、耐力度調査を行います。耐力度調査とは、公立学校施設における建物の構造耐力、経年による耐力の機能低下、立地条件による影響の3つの項目について総合的に調査し、1万点満点で建物の老朽度を調査するものでございます。具体的には、コンクリート構造の強度を測定するために試験体をコア抜きしたり、削り出しをしたりというところで、それぞれ検体を採取し点数を付けていきます。縷々検査してまいりまして、4500点を下回った場合には、危険校舎と判断されて改築するにあたって国庫補助、国庫負担金の対象となります。こちらが4500点を上回るものであれば、耐力があると、まだ校舎としては使用が可能ということで、長寿命化というような改修工事に移るものになります。そのどちらの改修にあたるか判断するための委託調査になります。現在契約を締結しておりまして、1月末までの工期で事業を進めていく予定としております。

それと、こちらについては報告となるのですが、廃校となりました旧津布田小学校や、統合いたしました旧埴生小学校、旧厚陽中学校につきまして、管理について大変苦労している状態でございます。特にこの時期の草の繁茂について、下流域に田園地帯があり農薬散布も憚られるというところで現在は職員が手分けをして草刈り作業をしています。暑い中なので、熱中症に注意しながら実施しているところです。こちらにつきましては、一刻も早く利活用の道を見つけて、活用方針が定まればと思っております。

教育総務課からは以上です。

○長友教育長

はい。ただ今の報告に関しまして、ご意見ご質問はございませんか。

いいですか。今草刈りは、どのくらいの数で何日ぐらいかかっているのですか。

○矢野教育次長兼教育総務課長

旧津布田小学校につきましては、年に2回予定しておりまして、この時期と10月ぐらいに実施したいと考えております。旧厚陽中学校は、6月末に実施しまして、また秋口頃に実施したいと思えます。1回に出動する人数ですが7名から8名で、この時期ですので一応午前中で終わるように少し気合を入れてやっているところでございます。

○長友教育長

はい。結構職員の時間を割いてやっているということですね。

○矢野教育次長兼教育総務課長

そうですね。はい。予算化できればいいなと思っています。

○長友教育長

今後は代行委託も考えて予算等検討していただければと思います。

○嶋本委員

利活用の方針みたいなものがあるのですか。

○矢野教育次長兼教育総務課長

庁内で利活用の検討委員会というのがありまして、そちらにはかけている状態ではあるのですが、なかなか決まらない状態です。

○長友教育長

その他よろしいでしょうか。

続きまして、升谷学校教育課長お願いいたします。

○升谷学校教育課長

はい。学校教育課から報告させていただきます。

まず初めに、部活動地域展開・地域移行についてです。

現在の学校での部活動の運用は、平日3日、休日1日活動を行う形態をとっています。当初の計画では、今年度末をもってこの運用形態を終了させ、令和8年4月からは、平日2日活動し、休日には活動しないこととしていました。しかし、校長会からのご意見などを踏まえて、「山陽小野田市中学生の文化・スポーツ活動体制整備協議会」の承認を得て、令和8年度中の中学3年生（現在の中学2年生）が部活動を引退し新チーム・新体制が発足するまでの期間は、現在の運用を継続することとしました。そして、来年度中学3年生が引退し新しい体制が発足した後は、平日は2日活動し、休日の活動は行わないこととします。通常、部活動においては、3年生が引退するのは夏ごろであり、この時期に新体制がスタートします。したがって、運用形態の変更は、学校ごと部活動の種目ごとに異なる時期で行われます。同じ学校であっても、新体制発足のタイミングに合わせた運用形態の変更が行われることとなります。

二つ目は、松原分校販売学習についてです。

6月29日（土）、竜王中学校松原分校において、松原分校の生徒たちと赤崎小学校の特別支援学級の児童による販売学習が行われました。生徒たちは、作業学習で製作したおもちゃや日用品、野菜などを自ら接客して販売しました。この場を通じて、たくさんの人々と積極的なコミュニケーションを図りながら、将来の自立に必要な金銭感覚を養う貴重な経験となりました。また、彼らが製作した商品が実際にお客様に喜ばれることで、自信と意欲を高めることができました。

松原分校は、今年3月の小学生の卒業とともに、現在は中学生のみとなり、中学1年生が1名、中学2年生が3名、中学3年生が3名の合計7名が在籍しています。

以上で、学校教育課からの報告を終わります。

○長友教育長

はい。ただ今の報告に関しまして、ご意見ご質問はございませんか。

○河村委員

はい。

○長友教育長

はい。

○河村委員

部活の地域展開について、実際部活の受け皿というか、引き受けて下さる団体は大体でいいので何%ぐらい見つかりましたよというのがわかれば教えてください。

○升谷学校教育課長

団体で言うと、6団体程度と聞いています。種目までははっきりと覚えていないですが、文化的な団体が1つで、あとはスポーツと聞いております。

○河村委員

8団体の受け皿が見つまっているということですね。全体は何団体あるのですか。

○升谷学校教育課長

今募集をしているところで、ちょっと詳しいことはわかっていないのですが、種目によってはまだ協議中というものがあって、正式には登録されていないものもございます。

○河村委員

来年の8月には、なんとか100%はいかないにしても、過半数は埋まりそうな雰囲気なのですかね。

○升谷学校教育課長

そうですね。今ある部活動の種目で、そちらの方を主に募集をかけているところですが、多様な体験ということで、今学校の部活動にないような活動につきましても、例えば公民館の講座などにも中学生たちが参加できるような仕組みづくりを考えています。

○河村委員

わかりました。

○長友教育長

よろしいですか。

続きまして、福間埴生幼稚園長お願いします。

○福間埴生幼稚園長

はい。埴生幼稚園です。園の様子と取組について報告いたします。

初めに、あおい保育園との2園交流会についてお話しします。

7月1日に、あおい保育園の年長児が15名、埴生幼稚園に来て遊戯室でゲームを楽しんだり、年長児の部屋でゆっくり過ごしたりと2園の子どもたちは交流をもつことができました。次回は、10月に行う予定で、幼稚園の年長児が、あおい保育園へ行きます。

次に、資料をご覧ください。これは7月11日に行ったデイキャンプの様子です。今年は、海賊をテーマに遊びを考えました。午前中は外でプールや水遊びを楽しみ、午後は父母会の方々の協力もあり、室内でゲームを楽しみました。さらに2時半から5時までは、年長児だけの特別な時間で手づくりのおやつを食べたり、宝探しゲームをしたりして楽しみました。

最後に、園で育てている夏野菜についてです。今年度は、夏野菜が豊作で、きゅうり・とまと・ズッキーニ・なす・オクラ・ゴーヤなど毎日のように収穫でき、給食時に食べることができています。子どもも毎朝、実ができていく様子を見に行き、収穫を楽しみにしている様子です。ボウルいっぱい野菜が採れると、「見て、採れたよ。」と、見せてくれます。夏の時期に必要な栄養が詰まった旬の野菜を、安心・安全な状態で食することができ、幸せなことだと思っています。

7月18日に終了式を終え、夏休みに入りました。2学期に笑顔いっぱい子どもたちに会えることを楽しみに、環境を整えて待ちたいと思います。

以上です。

○長友教育長

はい。ただ今の報告に関しまして、ご意見ご質問はございませんか。よろしいですか。

続きまして、吉村学校給食センター所長お願いします。

○吉村学校給食センター所長

はい。学校給食センターから、報告いたします。

1学期の給食の提供が、7月18日までで終了いたしました。夏休み期間中は、調理員の研修、調理器具の点検・修理、ボイラーの法定点検、センター内の清掃を行い、9月1日からの給食の提供に備えます。

続きまして、学校給食センター運営委員会の開催についてです。

7月7日に学校給食センター運営委員会を開催いたしました。運営委員会は、小中学校PTA連合会代表、薬剤師会、宇部健康福祉センター、小中学校校長、給食主任、養護教諭等16名で構成されている委員会です。この委員会は、方針を決定するような委員会ではなく、給食の運営の基本方針について、意見を交わす委員会になっております。

この度の議案では、新規に株式会社ハウディが物資納入業者として追加されたことを報告いたしました。ハウディは、熊本県に本社がある企業で、令和6年度に小野田・楠企業団地に進出されてきました。冷凍食品や加工品が主な取扱商品となります。登録期間は令和7年4月から令和9年3月までの2年ごとの登録となります。株式会社ハウディで16社目の登録となります。

次に、学校給食費の値上げについて説明しました。委員のPTA代表からは、物価高騰による食材費の値上げについては理解できるが、今後市で補填されていたものが、国が示している令和8年度からの小学校の無償化について、どのように変わっていくのかまた、中学校はどのようになるのかを教えてほしい、という意見がありました。

最後に、親子食育教室についてです。

親子食育教室は、学校給食センターを活用して、食育の推進について提供する事業となっております。7月25日（金）9時から23人、8月1日（金）9時から20人が親子食育教室に参加します。学校給食センターの2階の調理室で親子食育センターを利用して、市が定めている食育推進計画にのっている「よく噛むこと」をテーマにして講演します。また、外部からヤクルト山陽株式会社の方を講師に迎えて講演を行います。当日は、たこめし・トントンれんこん・かみかみサラダ・かみかみみそ汁・ごま団子を作る予定です。

報告は以上です。

○長友教育長

はい。ただ今の報告に関しまして、ご意見ご質問はございませんか。よろしいですか。

それでは、山本社会教育課長よろしく願いいたします。

○山本社会教育課長

はい。社会教育課からご報告いたします。

初めに、人権に関するご報告です。

宇部・山陽小野田地区企業人権教育連絡協議会についてです。同協議会につきましては、山陽小野田市と宇部市の企業で構成され、同和問題をはじめ、さまざまな人権問題の早期解決を図るため、企業が社会的責任を自覚のもとに、相互が連携して行政とともに企業人権教育を推進することを目的に活動している団体です。7月8日総会が開催され、教育委員会から長友教育長と正木社会教育主事が参加しました。

続きまして、市の活動です。7月15日に山陽小野田市人権教育推進協議会を開催いたしました。辞令交付、会長・副会長の選出、市の人権啓発・人権教育の取組などについて説明を行ったのち、委員委嘱初年度ということで、山口県人権推進指針から、昨今の動向や人権課題について確認を行いました。また、委員が2グループに分かれて、今後2年間で展望し、各地区・各団体で取り組みたいことについて協議する時間を設けるなど、今後の活動の参考となるよう会を実施いたしました。

主な協議内容は、改めて議案として報告いたします。

次に文化財の管理についてです。

7月11日妙徳寺山古墳、7月18日長光寺山古墳と厚狭毛利家墓所の清掃・草刈りを行いました。これは例年、山陽小野田市文化財愛護会（清掃活動や市民に文化財を知ってもらう活動などされている団体）と社会教育課職員が行っております。また、6月26日にも市文化財であります勘場屋敷、これは社会教育課の職員のみで行いましたが清掃活動を実施いたしましたので、ご報告いたします。

次に、社会教育主事講習についてです。7月21日から広島大学での講習が始まり、社会教育課から職員1名が参加しております。今週がオンラインと現地研修、来週7月28日からお盆休みをはさみますが、8月19日まで対面講義となっており、全18日間の講習期間となっております。

受講者につきましては、修了証書が届き次第、手続きを行い、社会教育主事として活躍することを期待しております。

最後に、次年度の放課後子ども教室についてです。6月の教育委員会会議で、厚狭地区で本年度の活動がはじまったことを報告いたしました。来年度から、小野田地区の児童館が廃止されることに伴い、現在、小野田地区でも放課後子ども教室が実施できないか、社会教育課で検討しております。

以上でございます。

○長友教育長

はい。ただ今の報告に関しまして、ご意見ご質問はございませんか。

よろしいですか。はい。

○竹田委員

はい。意見ではないのですが、本当に社会教育課さんは普段管理されるだけではなく、環境管理の草刈りもすごいエリアをされているのですね。いつもありがとうございます。負担を少しでも減らせるような仕組みで有志のボランティアさんがおられるとも聞きましたけど、そういう仕組みがもっとあるといいなと感じました。本当にお疲れ様でございます。

○長友教育長

はい。ありがとうございます。よろしいですか。

それでは、山本図書館長お願いいたします。

○山本中央図書館兼厚狭図書館長

はい。市立図書館からご報告申し上げます。

市立図書館関係資料をご覧ください。《6、7月行事予定》です。6月26日（木）「大人の絵本カフェ【図書館創発会議主催】」で第1回目を行います。7月2日（水）、7月17日（木）『子ども市民教育推進講座「電子書籍 v s 紙の本 きみはどっち？」』という内容で、7月2日は小野田中学校、7月17日は埴生小学校でお話しさせていただきます。7月13日（日）になりますが、『朗読劇「米屋は無事か」』を開催いたしました。

そして【資料展示】ですが、現在7月4日から「～わたしの推し本はこれ！～西広ショータさんの本棚」を開催しています。西広ショータさんは、本市のスペシャルスマイルプランナーでシンガーソングライターの方です。

《7、8月行事予定》をご覧ください。8月3日（日）『東洋大学講師派遣事業 生涯学習支援プログラム「ヨガで学ぶメンタルヘルス」』というタイトルでお話しをさせていただきます。8月9日（土）『西広ショータminiライブ！「音楽の便り～旅する図書館～」』を開催いたします。そして、8月17日（日）『夏休み宿題?大作戦【図書館創発会議主催】』を行います。8月20日（水）「サイ

エンスカフェ開講10周年記念イベント」として特別なプログラムで開催いたします。一つは記念講演を行い、もう一つは大学見学の2本立てで行うことにしております。8月24日(日)『映写会「90歳。何がめでたい」』を上映いたします。8月31日(日)「夏休みファイナルイベント」として楽しいイベントを予定しています。

そして、厚狭図書館は《7、8月行事予定》をご覧ください。7月30日(水)と8月6日(水)に「こども図書館～図書館のおしごとたいけん」を開催いたします。主に小学生ですが、小学生にカウンターに出てもらい仕事を体験していただくものです。8月5日(火)「夏休み読書感想文教室」を開催いたします。

図書館からは以上でございます。

○長友教育長

はい。ただ今の報告に関しまして、ご意見ご質問はございませんか。よろしいですか。

それでは、若山歴史民俗資料館長お願いします。

○若山歴史民俗資料館長

はい。歴史民俗資料館からご報告いたします。

7月1日(火)厚陽中学校1年生に「厚陽地区の歴史と文化財」について、出前講座を行いました。厚狭毛利家や沖開作、本山炭鉱、平松古墳などの話をし、ふるさと文化遺産の紹介もいたしました。生徒たちは、初めて知る話が多かったようで、興味を持って聞いておりました。

7月8日(火)には、小野田地域交流センターで「山陽小野田の鉄道史」について、出前講座を行いました。小野田線が小野田の発展に活躍したこと、宇部・美祢の鉄道とのつながり、輸送を中心として産業の発達の基になったことが改めて理解できた、などの感想がありました。講座終了後は、資料館の見学をいたしました。

次に、チラシをご覧ください。企画展についてです。山陽小野田市誕生20周年記念事業 昭和100年企画展「山陽小野田の昭和写真展」が昨日、開幕いたしました。9月30日までです。期間中、記念講演会やギャラリートークを開催いたします。初日から反響があり、たくさん来ておられます。多くの方に来ていただきたいと思います。

最後に、小学生を対象に「夏休み埴輪づくり体験教室」を8月2日と23日に開催いたします。募集を7月から行いましたところ、定員を超える申し込みがありましたので、抽選となりました。

資料館からは以上です。

○長友教育長

はい。ただ今の報告に関しまして、ご意見ご質問はございませんか。

よろしいですか。埴輪教室は全部でどのくらいの応募があったのですか。

○若山歴史民俗資料館長

今回ちょっと少なかったのですが、40人ぐらいです。

○長友教育長

毎回40人ぐらいの応募があるのですか。

○若山歴史民俗資料館長

夏休みはもう少し多かったと思います。

○長友教育長

はい。その他よろしいですか。

それでは続きまして、下瀬小学校長会長お願いします。

○下瀬小学校長会長

はい。小学校長会から3点報告します。

1点目は、1学期の終了、総括についてです。7月18日に1学期の終了式を行いました。暑さが厳しいこともあり、いくつかの学校は、オンラインとなっています。1学期は、71日間でした。大きな事故もなく、熱中症・感染症の流行・百日咳などの心配もありましたが、無事終了することができました。4月に入学した1年生もすっかり学校に慣れて、学校生活を楽しく充実したものにしています。水泳指導についても、しっかりと行うことができました。今年は梅雨の期間が短かったこともあります。本校では、着衣水泳を最後の1週間に全学年で、一部水泳学会の方から指導者を招いて行うことができました。夏休み中、水の事故も多いことから、保護者への注意喚起のメールも出しております。4月から学校行事や教育活動を様々なかたちで実施することができ、地域連携事業や山陽小野田市の特色ある事業、それから子ども市民教育など、多くの工夫された連携事業を行うことができました。それぞれの行事で、教育活動の意義や目的を考え効果的な活動となるよう、校長会でも夏休み中に話し合い、学校と相談しながら行ってまいります。

写真は、最後の週にお楽しみ会を、企画・運営している子どもの様子と、着衣水泳の様子です。

2点目は、夏季休業中の児童の活動です。多くの学校が、7月の夏休みの始まり1週間、あるいは8月の終わりの週に、算数などの補習時間を設け個別指導を実施しております。本年度本校では、高千帆中や小野田高校のボランティアを募っておりますが、たくさん来ていただいて、今日は15名ぐらいで、高校生が13名、中学生が2名いました。一緒に児童の勉強を見てもらっています。子どもたちは毎日80名以上の児童が学校に来校し、個別指導を実施しています。

それから、園芸関係の当番児童も1日に約10名程度来校して、花の水やり・草取り・芽摘みなどを行っています。

図書館開放日も二日間行っております。昨日も実施しましたが、多くの児童が利用しています。

3点目は、夏季休業中の研修についてです。夏季休業中は市教育研究会の各部会、各種協議会研究会など多くの研修が行われています。校内では職員研修も計画的に各学校で行われています。本校では、ICTの活用・教科の指導・特別支援教育・校医による最近の感染症のことなど、それから指導案作成・エビペン・教育相談・人権教育・保育実習など、様々な分野で行っています。市の教育研修においては、各世話人が工夫をこらして実施しております。

校内研修では昨日、教育長にも特別講演をいただいて感謝しております。これからも教育活動の質の向上に向け、子どもと同じように教職員がしっかり学び、共通実践を行って日々自己研鑽に励んでいきたいと考えています。

以上、小学校長会からの報告でした。

○長友教育長

はい。ただ今の報告に関しまして、ご意見ご質問はございませんか。

○嶋本委員

感染症に対して全国的にある程度流行っているものがいくつかあると思うのですが、山口県とかこの辺の学校は、それに比べるとどうなのでしょう。

○下瀬小学校長会長

感覚なのですが、全国でニュースになってきた後に、ぽつぽつと出たような感じがします。百日咳も、すごく話題になった後に1名出ました。

○嶋本委員

そんなに市内で流行しているという事ではないですね。

○下瀬小学校長会長

校医に聞くと、「ぽつぽつ出てきているよ。」と聞いていました。

○嶋本委員

はい。わかりました。

○長友教育長

はい。その他よろしいですか。

続きまして、高来中学校長会長お願いします。

○高来中学校長会長

はい。中学校長会から３点ご報告申し上げます。

１点目は、山口県中学校選手権大会についてです。夏休みに入って、県下各地で県選手権大会が開催されています。来月上旬に、中国地方５県で開催されます中国大会へ出場が決まっているチームや選手を紹介いたします。

軟式野球の部で、厚狭中学校が本日午前中に決勝戦を制し、第１位での中国大会出場です。厚狭中学校軟式野球部は、３年連続の出場となっています。弓道の部、同じく厚狭中学校３年女子１名が、個人県１位となり、こちらは中国大会ではなく、全国大会に出場が決まっています。卓球個人の部で、高千帆中学校の３年女子が中国大会出場です。現在、ちょうど今ぐらいにベスト４を懸けて試合中がございます。水泳競技の部で、高千帆中学校の１年男子１名が５０ｍと１００ｍの自由形、１年女子が２００ｍ背泳ぎに出場します。そして柔道の部で、竜王中学校の２年生男子１名が５０ｋｇ級に出場します。現在把握できているところで、このようになっています。おおむね本日までで県選手権大会が終わると思われます。

写真の方は、本校の水泳男子と女子です。野球ものせたかったのですが、今日の午前中に決まりましたので、のせることができておりません。

文化部の方は、吹奏楽部が今月の２６日から２８日にかけて、下関市で開催される山口県吹奏楽コンクールに出場することとなっております。

２点目は、中学生市議会についてです。先程、教育部長からもお話しがあった通りですけれども、来月５日（木）１４時３０分から、中学校市議会が市ふるさと協議会のお世話で、市役所議場で開催されます。市内６中学校の代表が議員となり、一般質問を行います。議長も、小野田中学校・高千帆中学校の生徒が務めます。当日の様子は、教育委員会や関係課のお世話でＹｏｕＴｕｂｅによる配信も行われ、タブレットで他の生徒や保護者も視聴できるように配慮されています。中学生が、市政や町の将来・社会・課題を自分の問題として捉え、自ら考え、自らが判断し、行動していく、そんな主権者を育成する主権者教育の貴重な体験の場だと思っています。

写真は、今年まだ始まっておりませんので、昨年度の様子を写真でのせています。

最後３点目は、部活動以外の夏休み中の教育活動についてです。来月３日、おもてなし大作戦について、地区の奉仕作業への参加を勧めているところです。地域の方々との交流の中で、中学生も住民としての役割を果たし、自覚を高めることを期待しています。また、どの学校も夏季休業中に期間を設けて、冷房の効いた教室等での補習学習を計画・実施しています。基礎・基本を中心とした学習指導や、夏休みの課題学習を中心に、学力の定着に向けた活動を予定しており、市内高校生の学習支援ボランティアの協力も得て、実施いたします。２学期に良いスタートができるようにしたいと考えております。

以上で報告を終わります。

○長友教育長

はい。ただ今の報告に関しまして、ご意見ご質問はございませんか。

○嶋本委員

はい。

○長友教育長

はい。

○嶋本委員

軟式野球のお話があったと思うのですが、いくつかの協議で中国大会や全国大会に行かれる生徒さんがいらっしゃるということなのですが、その方たちの指導者というのは、学校の先生がやられているのですか。

○高来中学校長会長

今市内で申し上げているものについては、おおむね中学校の教諭です。おおむねと申し上げたのが、今わかっている中で、竜王中の柔道はクラブチームの方で出るので、そちらの指導者と思われます。それ以外は、今の段階では学校部活動です。水泳も高千帆中学校で連れて行きます。水泳も実質はスイミングで練習している子もいるのですが、学校でも練習しています。弓道も同様です。

○長友教育長

弓道も、弓道の連盟から指導されていると聞いています。

○嶋本委員

部活も今後形態が変わっていく中で、今の従来の形だと、すごくやりたいという生徒さんの場合は、先生の方が「君できるんだから頑張ってね」みたいな「わかりました」と生徒さんにはっぱをかけて、そのような関係で頑張っている子もいると思うのですが、今後移行していくとそういう形は変わってくるから、やりたい子って一体どうなっていくのかなという心配がちょっとあるのですが。

○高来中学校長会長

そこは私共も、どうにか今の子どもたちが不利益を被ることがないようにしていきたいと思っていますところで、先程のご報告もありましたが、今の2年生については、引退するまでは今の状況でできますよ、ということで柔軟に対応していただいていることについて大変感謝しているところです。チーム変わりの今の1年生からが主に部活動の地域展開に関わってくると思うのですが、今市の方でも、受け皿となる地域クラブを立ち上げたりしているところです。もしかしたら、教員もある程度係わっていくことになるのかなと思っています。どちらにしても市内のスポーツ文化活動が衰退しないように、私たちもどうにか準備したいと思っていますところでは。

○長友教育長

よろしいですか。

○嶋本委員

はい。

○長友教育長

それでは各課の報告を以上で終わります。

○河村委員

ちょっとよろしいですか。小中学校長会長が来ておられるので聞きたいんですが、つい最近、学校でも地位の高い教諭が児童の隠し撮りをしたという報道があり、画像なのか動画なのかわかりません

けど、それを機密性の高いクローズされた範囲で見えていたとのことでした。このようなことが学校の教育する場で起こったということは由々しき問題です。ただ、我々の市はないと信じたいのですが、絶対ということはありませんので、現場におられる先生方として、教育委員会に何かしてほしいことや、そういうことが起こらないために何かいい手立てはありませんか。疑ってかかるのは悪いと思うのですが、疑わざるを得んなというような状況で、先生方の知恵を借りないといけないと思うので、今のこのニュースを聞かれて感想やコメントがあればお願いします。

○下瀬小学校長会長

はい。これがニュースになる前から、ハラスメントについては、職員研修でいろんな形で行っていました。セクハラに限らず。児童生徒に対する法令が変わって、昨年の1月から子どもたち自身に先生から体を触られたりすることがないかということ、管理職がアンケートを基に児童に直接聞き取りをするということを学期に1回ではありますが実施しています。先程お話があったように、ないことを信じたいとは思っていますけど、そういう形で、どういふことで嫌な思いをしたかというのを子どもたちに聞いて、実際にそういうことがあれば、指導もするし、今テレビや新聞等で報道されているようなことはありませんけど、「よく頑張ったね」と頭を撫でただけで、体を触られたと感じる子どももいるし、そうではなくて、抱きついて来る子どもたちもたくさんいますし、その辺が難しいところではありますが、子どもたちが不快に感じたことを丁寧に抜き取って、互いに信頼関係を作っていくことが一番必要かなと思います。

以上です。

○高来中学校長会長

中学校長会です。ニュースが出たときは、私自身も驚きましたけれども、本校含めて、どの学校でも研修を即座に行っています。その事例も紹介するし、元々の法令のことについてもすぐに研修を行っているところです。おっしゃるように、疑ってかかっちゃいけませんし、そんなことありえないだろうとは思っていますけれども、けれども、そのようなことがないようにするためにはやっぱり職員の中でしっかりそういう雰囲気醸成していかないといけないし、風通しの良い職員室を作っていかなければいけないのだと思っています。本校においては、人権感覚振替シートというのを教員も子どもも毎学期行うようにしています。そのような中でも、雰囲気醸成していきたいと考えているところです。

以上です。

○河村委員

こういう難しい問題は、現場の先生方と教育委員会が密に連携しながら、少しでも良い方向に向くように全員が同じ方向を見て健全な教育現場を作らないといけないので、教育委員会に何か要望があったら遠慮なく言ってほしいなと思っています。教育委員としても何か現場の先生方にお願いすることがあるかもしれませんが、連携を上手く入れて行きたいなと思っていますので、よろしくお願いします。

○長友教育長

よろしいですか。

○竹田委員

はい。

○長友教育長

はい。

○竹田委員

昨日、学校運営協議会に出させていただいて、やはり学校の方からそういう問題、対策についてお話がありました。やっぱり地域の方も、「見守りに立っていても触らんようにしているよ」とか「そのかわり向こうからハイタッチしようとする子もいるよね」とか、そういった係わりは心を育てる意味でとても大事な部分だと思います。だから学校と地域の方もかなり時間をかけてその部分を先生方も一生懸命してくださっている中で、起こってしまったということに関しては、残念だけれども今後どちらも大事にしていくというか、子どもも先生方も大事にしていくという意味で地域としても何かできることはないかとお声が出ました。学校運営協議会があるということは、そういうことが本当に話し合えるのだなと、昨日とても良い機会だと感じながら出席させていただきました。

以上です。

○長友教育長

学校運営協議会などでそういう話をしっかり協議できるというのは確かにいいことだと思いますので、今から協議会等する学校もあると思いますので、情報提供等ぜひお願いしたいと思います。
よろしいですか。

次回の会議日程

○長友教育長

それでは、次回会議日程について教育次長よろしくお願ひいたします。

○矢野教育次長兼教育総務課長

はい。次回の日程でございますが、8月21日（木）14時00分から市役所の第2別館の2階で開催することをお諮りいたします。よろしくお願ひいたします。

○長友教育長

はい。皆さんよろしいでしょうか。

（「はい。」という声あり）

それでは、ここで前半を終了いたします。どうもお疲れ様でした。

15時14分休憩

15時21分再開

議案第28号 山陽小野田市社会教育委員の委嘱等について

○長友教育長

それでは議事に移ります。議案第 28 号「山陽小野田市社会教育委員の委嘱等について」事務局説明をお願いいたします。

○山本社会教育課長

はい。議案第 28 号についてご説明します。

このたび社会教育委員の任期が、令和 7 年 6 月 30 日で終了することに伴い、新たに委員を委嘱するものでございます。

委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、並びに学識経験がある者から 14 人、教育委員会が委嘱することとなっております。委員の任期は、令和 7 年 7 月 1 日から令和 9 年 6 月 30 日までとなっております。

このたび市内の高等学校・山口東京理科大学・文化関係団体から新たに委員を選出していただいております。

説明は以上でございます。

○長友教育長

はい。ただ今の説明に関しまして、ご意見ご質問はございませんか。

では一つ。高校の代表と理科大学から新しく入っているのですが、入れられた理由はどういうところなのか。

○山本社会教育課長

はい。社会教育課といたしまして、青少年の健全育成と言いつつ、事業の対象が中学生までのものが多いということが一つございます。もう一つが、小学校・中学校・高等学校・大学と 4 所を交えた連携を今後図りたいことから、推薦をお願いいたしました。

○長友教育長

はい。ありがとうございます。その他よろしいですか。

それでは、議案第 28 号「山陽小野田市社会教育委員の委嘱等について」を原案どおり決することにご異議はございませんか。賛成いただける方の挙手をお願いいたします。

(全員挙手)

はい。ありがとうございます。議案第 28 号は、全員賛成により可決されました。

県費負担教職員の人事について

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第 14 条第 7 項ただし書きの規定により、非公開

市職員の人事について

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第 14 条第 7 項ただし書きの規定により、非公開

市職員の営利企業等従事許可

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第 14 条第 7 項ただし書きの規定により、非公開

その他

○長友教育長

その他になりますが、何かございますか。

閉 会

○長友教育長

これで本日予定されていた議事は全て終わりました。以上を持ちまして会議を閉じます。皆様お疲れ様でした。

15時28分閉会

山陽小野田市教育委員会会議規則第 19 条の規定により、ここに署名する。

令和 7 年 7 月 24 日

教 育 長

印

署 名 委 員

印

署 名 委 員

印

会議録を調製した職員

印